

講演会・例会のご案内

(4月10日～6月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理:臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便秘異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的血尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥下困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
04/14 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①9)0.5単位、 15)0.5単位 ②1)0.5単位、 73)0.5単位	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし
04/25 (土) 19:10	沖縄県医師会館	睡眠障害セミナーin Okinawa (日医生涯教育講座) 新しい睡眠薬の使い方 ～レムボレキサントの紹介～	小曾根 基裕(久留米大学医学部 神経精神医学講座准教授)	20)1.0単位	エーザイ(株) 佃 英樹 080-9889-4115 参加費 なし
05/12 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①9)0.5単位、 15)0.5単位 ②1)0.5単位、 73)0.5単位	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし
05/19 (火) 19:00	国立病院機構 沖縄病院	第171回胸部レントゲン勉強会 (日医生涯教育講座) ①症例検討&ディスカッション ②症例検討&ディスカッション	①兼島 洋(おもろまちメディカル センター) ②比嘉 太(沖縄病院)	①2)0.5単位、 45)0.5単位 ②7)0.5単位、 42)0.5単位	胸部レントゲン勉強会 大湾 勤子 098-898-2121 参加費 なし
05/29 (金) 19:10	沖縄ハーバー ビューホテル	第8回沖縄PTH研究会 (日医生涯教育講座) ①大腿骨近位部骨折治療update ②運動器を扱う専門家が知って おきたいロコモを取り巻く環境 と医療連携—骨粗鬆症・サル コペニア・フレイル—	①宮本 俊之(長崎大学病院外傷 センター准教授) ②帖佐 悦男(宮崎大学医学部 整形外科学教授)	①57)0.5単位、 62)0.5単位 ②19)0.5単位、 77)0.5単位	旭化成ファーマ(株) 石坂 文寛 098-869-9540 参加費 整形外科医2,000 円・他科医師1,000円

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い: 6月10日～8月9日迄の講演会例会等が決まれば、4月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

令和2年度 産業医研修会について

令和2年度みだし研修会を別紙により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F ・ G ・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務1課
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

令和2年度沖縄県医師会産業医研修会（申請中）

No	研修会名	日時	場所	カリキュラム (付与単位数)	講師名	講師所属	研修テーマ
A	基礎研修 (前期) 未認定医 対象	4月16日(木) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)総論(2単位) (2)健康管理 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)沖縄産業保健総合支 援センター所長 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員	(1)産業医活動のABC ～産業医活動のミニマ ム・リクワイアメント～ (2)産業医に求められる 健康診断の基礎知識
B	基礎研修 (前期) 未認定医 対象	5月13日(水) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)作業環境管理 (2単位) (2)メンタルヘル ス対策 (2単位)	(1)清水隆裕 (2)山本和儀	(1)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員 (2)山本クリニック院長・ 沖縄産業保健総合支援セ ンターメンタルヘルス相 談員	(1)KYな作業環境管理 (2)職場のメンタルヘル ス活動入門
C	基礎 (後期) 生涯 (専門・更新)	6月4日(木) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)総論(2単位) (2)労働衛生関係法 規と関係通達の改 正(2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)沖縄産業保健総合支 援センター所長 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員	(1)産業医活動の原点 ～職場巡視、安全衛生委 員会、健康に関するアド バイスと面接指導など～ (2)改正健康増進法と職 場の受動喫煙対策
D	基礎 (実地) 生涯 (実地)	7月15日(水) 18:30～21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)メンタルヘル ス対策 (3単位)	(1)山本和儀	(1)山本クリニック院長・ 沖縄産業保健総合支援セ ンターメンタルヘルス相 談員	ストレスチェックを活用 した職場の環境改善
E	基礎 (後期) 生涯 (専門)	8月22日(土) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)健康管理 (2単位) (2)健康保持増進 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)沖縄産業保健総合支 援センター所長 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員	(1)産業保健における健 康管理～職場における産 業医の健康管理への関わり 方 (2)健康診断・保健指導・ 二次健診
F	基礎 (後期) 生涯 (専門)	9月3日(木) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)作業管理 (2単位) (2)作業環境管理 (2単位)	(1)青木一雄 (2)清水隆裕	(1)沖縄産業保健総合支 援センター所長 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員	(1)職場における作業管 理の進め方～過重労働対 策としての長時間労働者 に対する面接指導を中心 に～ (2)ハザードとリスク減 らせない危険をどう考え るか
G	基礎 (後期) 生涯 (更新・専門)	10月7日(水) 18:30～22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)労働衛生関係 法規と関係通達の 改正(2単位) (2)メンタルヘル ス対策(2単位)	(1)清水隆裕 (2)山本和儀	(1)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員 (2)山本クリニック院長・ 沖縄産業保健総合支援セ ンターメンタルヘルス相 談員	(1)労働時間を管理する ”残業時間”に注目して (2)働き方改革時代の職 場のメンタルヘルス活動
H	基礎 (実地) 生涯 (実地)	12月5日(土) 18:30～21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)作業環境管理・ 作業管理 (3単位)	(1)清水隆裕	(1)ちばなクリニック健 康管理センター医長・沖 縄産業保健総合支援セン ター産業医学相談員	(1)職場の受動喫煙対策 のすすめ方(実践編)

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※上記研修会は日本医師会へ申請中です。場所、研修タイトル等が変更になる場合がありますのでご注意ください。

2020年度（前期）産業保健研修会予定表

本研修会
は「無料」です
キャンセルの場
合はご連絡下
さい



沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。参加ご希望の方は、当センターホームページの「申込フォーム」又は、下欄「申込書」に記載の上、**切らずに**（FAX:098-859-6176）お申し込み下さい。当センターホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。（<https://www.okinawas.ihas.go.jp>）
※「定員」に達した場合は、受付を終了させていただいております。詳しくは、当センターホームページでご確認下さい

申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただいております。また、本研修会予定表以外に研修会を開催することがございますし、**研修会場が変更になることがございますので、ホームページでご確認下さい。**

独立行政法人 労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センター
〒901-0152 沖縄県那覇市字小嶺1831-1 沖縄産業支援センター2階 tel.098-859-6175 fax.098-859-6176

さんぽセンターおきなわ

○ 産業医研修 (生涯研修2単位。当日「産業医学研修手帳(II)」をご持参ください。)

【研修場所：沖縄産業支援センター 3階】

研修会番号	日時	研修テーマ	内容	講師	会場
1	5月7日(木) 18:30~20:30	基礎から学ぶ 発達障害の理解と支援 (生涯専門)	【初級編】疑似体験等を通じ、発達障害の特性を学ぶと共に、支援の基本を確認する。また、後半では、支援機関等に関する情報提供を行う。	沖縄県発達障害者 支援センター	303室
2	5月20日(水) 18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレスチェック事例検討会(1) (生涯実地)	ストレスチェック及び職場のメンタルヘルス対策に関連した企業および個別の事例について、産業医と精神科医が事例を提示し、対応の良かった点、および課題などについて検討することを通して、実践的な問題解決法を学んでいただく。	山本 和儀 (産業医)	303室
3	5月22日(金) 18:30~20:30	大人の発達障害の理解と支援 (生涯専門)	大人の発達障害に対する考え方と理解、対応の仕方、事例を紹介し、うつ状態に陥ったときの支援法を、認知行動療法の演習を通して学ぶ。	仲本 晴男 (産業医)	304室
4	5月27日(水) 18:30~20:30	職場に求められる受動喫煙対策 新型タバコを中心に (生涯専門)	健康増進法が改正され、より強力な受動喫煙対策が求められることとなった。一方で、新型タバコ(加熱式タバコ、電子タバコなど)などの情報に混乱が見られる。そこで、新型タバコへの知見を中心に対策をまとめる。	清水 隆裕 (産業医)	303室
5	5月28日(木) 18:30~20:30	治療と仕事の両立支援 (生涯専門)	病気と仕事の両立は、高齢労働者や有病者の助けになるばかりでなく、人材確保の面からも選ばれざる事業所に！	伊志嶺 隆 (産業医)	306室
6	6月10日(水) 18:30~20:30	働き方改革における関連法 (生涯更新)	働き方改革関連法(36協定の上限規制、同一労働同一賃金)、パワーハラスメント対策の内容について、説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
7	6月11日(木) 18:30~20:30	職場復帰支援(リワーク支援)について (生涯専門)	うつ病等により休職中の方の職場復帰には、適切な治療と十分な休養に加え、一定の回復段階から準備を行うことが大切である。沖縄障害者職業センターが実施する職場復帰支援及びフォローとしてのジョブコーチ支援を紹介する。	沖縄障害者職業 センター	303室
8	6月16日(火) 18:30~20:30	治療と仕事の両立支援 ～相談支援の現場から～ (生涯専門)	「治療と仕事の両立支援」は関係機関と連携をして取り組むことが大切です。労働者・事業場の相談事例からサポートにあたる関係機関や関係者の役割や関わり方について考えます。	千葉 千尋 (保健師) 金城由紀子 (社労士)	303室
9	6月17日(水) 18:30~20:30	従業員の健康情報の取扱いに関する留意点 (生涯更新)	個人情報保護法は2017年に改正され健康情報もその対象として明記されました。重要でありながら普段接する機会が少ない個人情報保護について解説いたします。	平良 卓也 (弁護士)	304室
10	7月14日(火) 18:30~20:30	作業環境管理と作業環境測定器の使い方 (生涯実地)	作業環境測定器の概要を説明し、また、「デジタル粉じん器」や「検知器」等の測定機器の使い方を説明いたします。	狩俣 栄作 (作業環境測定士)	306室
11	7月22日(水) 18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令 (生涯更新)	職場の健康診断と安全衛生管理体制等、関係する労働衛生法令について説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
12	8月5日(水) 18:30~20:30	いままさら聞けない職場巡視：産業医編 (生涯実地)	オフィスの職場環境を改善することを目的とした職場巡視のポイントについてわかりやすくまとめます。	崎間 敦 (産業医)	303室
13	8月19日(水) 18:30~20:30	産業医が取り組む、病態を考慮した 職場のハラスメント対策 (生涯専門)	新しく施行される「ハラスメント防止対策法」や指針を参考に、ハラスメントを行う側・受ける側の病態を考慮した、産業医が取り組むハラスメント対策について、学んでいただく。	山本 和儀 (産業医)	303室
14	8月27日(木) 18:30~20:30	ストレスチェックと産業医 (生涯専門)	高ストレス者面接、意見書、集団分析結果など産業医としてどうにかかわっていくべきか一緒に考えてみましょう！	伊志嶺 隆 (産業医)	303室

※キャンセルの場合は必ずご連絡下さい **申込書**(fax:098-859-6176) ※切らずにお送り下さい

ふりがな 氏名	研修会 番号
所属機関(事業場名)	所属部署
職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()
電話番号	() - (FAX) () -
メルマガ希望者	email:

衛生管理者等研修 (人事担当者、産業看護職等)



【研修場所：沖縄産業支援センター 3階】

さんぽセンターおきなわ

検索

番号	日時	研修テーマ	内容	講師	会場
15	5月11日(月) 14:00~15:30	基礎から学ぶ 発達障害の理解と支援	【初級編】疑似体験等を通じ、発達障害の特性を学ぶと共に、支援の基本を確認する。また、後半では、支援機関等に関する情報提供を行う。	沖縄県発達障害者 支援センター	306室
16	5月13日(水) 14:00~16:00	大人の発達障害の理解と支援	大人の発達障害に対する考え方と理解、対応の仕方、事例を紹介し、うつ状態に陥ったときの支援法を、認知行動療法の演習を通して学ぶ。	仲本 晴男 (産業医)	308室
17	5月14日(木) 18:30~20:00	マインドフルネス講座	~ヨーガの実践を通して学ぶマインドフルネス~ 5000年も続いている健康法ヨーガの実践を通してマインドフルネスを学ぶ実践講座です。ヨガマットを持参、運動靴不要、動きやすい服装でご参加ください。	高良 康雄 (健康運動指導士)	304室
18	5月18日(月) 14:00~15:30	睡眠衛生と健康管理	睡眠障害は放置するとメンタルだけでなく身体にも悪影響を及ぼす。衛生管理者のために睡眠衛生指導を通じた健康管理について概説する。	普天間国博 (産業医)	305室
19	5月20日(水) 15:00~16:30	働き方改革における関連法	働き方改革関連法(36協定の上限規制、同一労働同一賃金)、パワーハラスメント対策の内容について、説明します。	前里 久誌 (社労士)	308室
20	5月25日(月) 14:00~15:30	事業者が知っておくべき労災補償等と安全配慮義務	業務上疾病と①労災手続き、労災保障②使用者の安全配慮義務の重要性、等について基礎的な知識について説明します。	菅原 稔 (労働安全コンサルタント)	306室
21	5月27日(水) 14:00~15:30	従業員の健康情報の取扱に関する留意点	個人の健康情報は高度なプライバシーに関わるもので慎重な取扱が必要です。2017年の個人情報保護法の改正を踏まえ、企業における注意点を確認頂きます。	平良 卓也 (弁護士)	303室
22	5月28日(木) 15:00~16:30	健診/検診結果の読み方、伝え方	労働安全衛生法により労働者への健康診断が義務付けられているが「治療が不要な異常値」を指摘されて職場での対応に苦慮する事例も多数ある。そこで、職場の担当者として理解しておきたい健診結果の見方を解説する。	清水 隆裕 (産業医)	306室
23	6月1日(月) 16:00~17:30	職場におけるハラスメント対策	2020年4月よりハラスメント対策が強化されます。職場でどのようなことに気を付けていけば良いのか、一緒に考えてみたいと思います。	長崎 文江 (産業医)	306室
24	6月9日(火) 14:00~15:30	産業保健社内外資源の使い方	社内外の資源を利用して、処遇困難ケースにどのように対応したらよいか事例を用いて解説します。	佐藤恵美 (精神保健福祉士)	306室
25	6月15日(月) 14:00~16:00	どう手を付ける「職場改善」 ~メンタルヘルス~	ストレスチェックの集団分析結果を職場環境改善に活かしましょう。その具体的な取り組みについて学習します。	メンタルヘルス 促進員	302室
26	6月17日(水) 14:00~15:30	沖縄障害者職業センターの事業主 支援について	沖縄障害者職業センターが行う障害者の雇入れ及び雇用管理のための事業主支援について説明する。(特にジョブコーチ支援及び職場復帰支援)	沖縄障害者職業 センター	304室
27	6月18日(木) 16:00~17:30	治療と仕事の両立支援	病気と仕事の両立は、高齢労働者や有病者の助けになるばかりでなく、人材確保の面からも選ばれる事業所に!	伊志嶺 隆 (産業医)	308室
28	6月30日(火) 14:00~15:30	職域における熱中症の効果判定	熱中症予防のためには事業場サイドの対策だけでは不十分です。生活習慣改善の必要性と事業場における対応策にも言及します。さらに救急対応についても解説します。	平山 良克 (産業医)	308室
29	7月9日(木) 14:00~15:30	どう取り組む!? 職場の「治療と仕事の両立支援」	「もし病気で今まで通り働けなくなったら…」誰に相談する? 休職する? 収入は? 両立支援を職場で取り組むための具体的なポイントと、多様性を認める働き方について考えます。	千葉 千尋 (保健師) 金城由紀子 (社労士)	306室
30	7月13日(月) 16:00~17:30	職場におけるハラスメント対策	(6月1日の23番と同上)	長崎 文江 (産業医)	308室
31	7月15日(水) 15:00~16:30	労働衛生管理担当者のための労働 衛生法令	職場の健康診断と安全衛生管理体制等、関係する労働衛生法令について説明します。	前里 久誌 (社労士)	306室
32	7月29日(水) 16:00~17:30	精神疾患の復職時に留意すべき事項	精神疾患で休職中の労働者が復職する場合、労働者と会社側の意向が大きく異なる場合があります。復職時の基本的な手続きや考え方を分かりやすく解説します。	平山 良克 (産業医)	306室
33	8月3日(月) 14:00~15:30	事業者が知っておくべき労災補償等 と安全配慮義務	(5月25日の20番と同上)	菅原 稔 (労働安全コンサルタント)	306室
34	8月6日(木) 14:00~15:30	基礎から学ぶ 発達障害の理解と支援	(5月11日の15番と同上)	沖縄県発達障害者 支援センター	303室
35	8月12日(水) 15:30~17:00	いまさら聞けない職場巡視:衛生管 理者編	オフィスの職場環境を改善することを目的とした職場巡視のポイントについてわかりやすくまとめます。	崎間 敦 (産業医)	306室
36	8月19日(水) 14:00~15:30	沖縄障害者職業センターの事業主 支援について	(6月17日の26番と同上)	沖縄障害者職業 センター	303室
37	8月26日(水) 15:00~17:00	ストレスチェック制度の実際	ストレスチェック制度の意義や問題点について産業保健スタッフの皆さんと考え、共有しヒントを持ち帰られるような時間にしたいと思います。	赤嶺遠太郎 (公認心理師)	303室
38	9月15日(火) 14:00~15:30	産業保健における 産業看護職の役 割、専門性について	ストレスチェック制度の開始や働き方改革関連法施行に伴い、産業保健機能の強化が求められ、その中でも産業看護職の役割や専門性が期待されている。改めてその役割、専門性について一緒に考えましょう。	国吉利枝子 (保健師)	306室
39	9月16日(水) 15:00~16:30	労働基準法のあらまし	労働契約、労働時間及び賃金の支払い等の労務管理に必要な知識を、詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
40	9月17日(木) 16:00~17:30	ハラスメント	パワハラを再現してもらい、相談対応の仕方や事後措置などについて出席者とともにハラスメント対策を考えてみましょう!	伊志嶺 隆 (産業医)	303室

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 令和 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第 () 水曜日 ②第 () 木曜日 ③第 () 土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会業務1課(久場)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？
当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
臨時の場合		時給：	以上		
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089



ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことのできる環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務 環境改善 支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報
提供

助言

支援

医療勤務
環境改善に
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

お問い合わせ

TEL:098-888-0087

沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryoku-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】

**勤務環境改善をしたい
A病院**

相談

**医療勤務環境改善
支援センター**

派遣等

**A病院
勤務環境改善
チーム発足**

PDCAサイクル

P
計画

A
見直し

D
実施

C
評価

Plan 方針表明・組織づくり
Do 自己評価「自主監査」・改善策選定・自主ルール作成
Check 運用と評価
Act 定期的な見直し

日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する
分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf

勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート

[1] 労働時間管理に関する勤務医への周知

沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：令和 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面	
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談	
希望日	令和 年 月 日	

沖縄県医師会

- 63 (299) -

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで
簡単シミュレーション!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121 (代表) / 03-3942-6487 (直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間 : 午前9時30分～午後5時 (平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料		医師年金	
●基本・月払	加入：月払	●81コース	
月額保険料 60,000円	月額保険料 60,000円	加入年額 462,000円	加入 加入
加算年額 10,270円	月額保険料 12,000円	基本年額 17,200円	加入 加入
●加入年額 24年 6ヶ月 294日	●加入年額 24年 6ヶ月 294日	15年受給総額 18,998,000円	
合計月払保険料 72,000円		●82コース	
		加入年額 568,000円	加入 加入
		基本年額 17,200円	加入 加入
		15年受給総額 25,212,000円	
		●83コース	
		加入年額 191,100円	加入 加入
		基本年額 17,200円	加入 加入
		15年受給総額 26,874,000円	

設定条件をご確認ください。

試算日 平成 27年 9月 7日
生年月日 昭和 50年 1月 1日
試算自年額 40歳

加入申込期間 平成 27年 6月 15日
加入申込年 平成 27年 7月
加入申込日 40歳 6ヵ月

加入申込開始日 平成 27年 7月

年金受取開始年 平成 52年 1月
年金受取開始年齢 65歳

個人保険料合計 25,166,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、18日が土日・祝日の場合は、その前日となります。
- ・「毎月年金」は、加入者ご本人であれば一生受給継続することが可能です。
- ・「後払年金」では、加入者ご本人が65歳到達中に死亡した場合は、15年満期の期間については、ご遺族の方のみ受け取ることが可能です。
- ・「毎月年金」の受給開始日は、加入者ご本人の65歳の誕生日となります。
- ・受給開始年齢は、75歳まで繰上可能です。
- ・「受取年金額」は標準です。現在は利率1.5%での計算となっております。利率、年金の賦拠決定日等の変更時は、変更になる場合があります。

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

[医師年金の特長](#)
[医師年金のしくみ](#)
[医師年金シミュレーション](#)
[よくあるご質問](#)
[手続きガイド](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

[保険料からシミュレーション](#)
[受給年金からシミュレーション](#)

日医ホームページからの場合

1 保険料からシミュレーション
 ご希望の保険料を入力すると、受給する年金額の概算が試算できます。


2 受給年金からシミュレーション
 ご希望する年金額を入力すると、保険料の概算が試算できます。

3 マイページ登録
 お名前、生年月日、メールアドレスで簡単に登録できます。
[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4 マイページへログイン
 シミュレーションの結果を最大5件まで保存できます。
 年金の受取開始年齢の延長や、加算保険料増額の際の試算等、詳細なシミュレーションが可能です。

日本医師会 **医師年金** **スマホ・パソコンで簡単手続き**

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
 (申込みは、満64歳3カ月までをお願いします)

アニメーションで仕組みを確認 

シミュレーションで保険料を試算  

一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み
 (保険料のお支払いは後日ご案内します)
 ※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

医師年金HP画面

お問い合わせ先
 日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

生涯教育／プライマリ・ケア

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名 発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名、(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名、URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き。http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

薬局からマスク、消毒液の売り切れが続発した頃、対岸の火事と思っていたコロナウイルス感染症があつという間に世界中に拡散されていきました。この編集後記を書き始めた3月半ばでは、日本での感染者数1,500名を超えました。

沖縄県でも小中高等学校が臨時休校、見えないモノへの恐怖と不安ばかりが増強した毎日となっています。広域災害での局所的な規制はあってもこのような日本国中を感染防止対策のため入国制限、イベント・行事の自粛や中止など50歳になって初めて経験することも多くありました。

会報誌4月号の内容は、目次順に令和元年度第3回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議に関して宮里善次副会長から報告がありました。議題内容は、ひきこもり専門支援センターにおける相談支援の現状と課題、北部基幹病院の進捗状況、脳脊髄液減少症の治療提供体制、胃内視鏡検診運営委員会の設置、コロナウイルス肺炎の行政対応などに関して多岐に渡り議論されていました。緊急的、短期、長期的視野から検討せねばならないものの、対応に苦慮する内容ばかりで現在の沖縄県の状況を把握するためには必読です。

平安明常任理事からは、池原幸雄先生日本医師会最高優功賞受賞、知念正雄先生沖縄県功労者表彰受賞、多々羅靖弘先生瑞宝双光章受章、喜久村徳清先生旭日双光章受章の報告がありました。各先生方は沖縄県の医療・保健・福祉に多大にご尽力され、その功績を認識し感謝する祝賀会が1月30日に執り行われております。

生涯教育コーナーは、金城徹先生が小腸カプセル内視鏡検査の現状を分かり易く解説して

くれています。小腸は細長い消化管であるため、診断のみならず検査そのものが容易でありません。私自身も原因不明の消化管出血の診断に難渋した経験があり、その時を思い出しながら興味深く読みました。病気の部位、更に診断がつけば、その後の処置、治療も安心して進めることが出来るため今後が期待されます。

月間行事お知らせは、宮古保健所の宮里義久先生より沖縄県医師会報にみる「世界保健デー」、14年間の軌跡と題して医師会の取り組みを紹介してくれています。過去の内容は、健康関連だけでなく、感染症や医療資源の偏在など社会生活を維持するために必要な事柄を幅広く網羅しており、個人、地域、国レベルで真摯に向き合わないといけない提言が含まれています。

随筆では、大山朝賢先生から「ティー（手）」、安里尚彦先生から「泡盛と私」と題して寄稿して頂いています。沖縄で親しまれ、文化ともいえる空手と泡盛の楽しいお話しで奥の深さを教えられました。歴史的な背景を辿りながら今を楽しむ、日常生活のなかに温故知新に触れることで毎日が充実しそうな気がしてきました。

医師会報4月号表紙は、赤嶺和成先生提供のオッドアイ（虹彩異色症）を持つ猫の写真。調べてみると虹彩の左右の違いはイヌやネコで多くみられるが、歴史上の人物であるアレクサンドロス大王もオッドアイであったと記載されていた。彼は、一度も戦いに負けたことがなく、戦術、戦略に秀で成功を収めている。各国の首脳は、今回のコロナウイルス感染症拡散を“見えない相手との戦争”に例えているが、何とかみんなの知恵を集めて感染症が早く収束する事を切に願うばかりです。

広報委員 久志 一朗